社会福祉法人
大念仏寺
社会事業団

★ボ・ドーム大念仏
★いちょう保育園
★大念仏乳児院
★いちょうベビーセンター
★ひらのドリーム園

季刊誌 つぼみ
1月から3月

第３号
平成21年（2009）10月１日
発行所　社会福祉法人
大念仏寺社会事業団
発行人　理事長　杉田善久
編集協力
藤森雄介　淑徳大学
国際コミュニケーション学部
渡邉義昭　淑徳大学　総合福祉学部

施設紹介

いちょう保育園

大きな夢を…

当園では朝７時より夕刻７時までの時間帯で開園し、入園する乳幼児の最善の利益を考慮し、その幸せを積極的に増進することを理念とし、日々保育に取り組んでおります。

まず、子どもが毎日来たくなる保育室の空間作りをお掛け、子ども達を受け入れています。子ども達には、挨拶、着替え、食事のマナー、排泄等生活に必要な基本的習慣や態度を身に付ける事、制作や集団遊び等を通して一人ひとりの成長を促し、友達関係やきまり事等の社会性の習得、大念仏寺境内での自然との触れ合いにより豊かな感性や情緒の発達を願っています。

体育指導、お絵かき教室での専門職員による指導。お正月、節分、桃の節句、七夕、餅つき等日本文化の伝承。季節行事は親子遠足、運動会、ごっこ遊び、誕生会、自由保育を行い旬の食材を取り入れた給食、手作りおやつの提供等々、五感（視、聴、嗅、味、触覚）の発達を大きく促し、「明るく元気な子、自主性のある子、思いやりのある子、大きな夢を持てる子になってほしい」と願い職員一同夢に向かって頑張っているところです。

また、今年度から改定された保育所保育指針を基本として、食育や地域子育て支援に更なる力を注ぐなど、保育内容の充実に向け、益々努力して参りたいと考えておりますので、今後共ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

「今に生き、今に生かせ」

大念仏寺社会事業団
後援会長　吉村　鐵雄

季刊誌「つぼみ」とは、人の心を「心の芽」と表現したことを、心から祝福します。

大念仏寺社会事業団は、発足以来、社会福祉事業を地域の皆様方のお活躍の場として、高齢者、障がい者、児童、母子、ボランティア、ご理解、ご協力、ご努力、ご評価、ご期待、ご厚意、ご支援、ご指導、ご鞭撻、ご叱咤、ご激励、ご愛顧、ご感謝、ご恩顧、ご高配、ご高恩、ご厚情、ご厚誼、ご厚意、ご厚遇、ご厚生、ご厚遇